

2020/08/07(金)15:23

授業科目名	教育原理	授業形態	講義
英語科目名	Educational principles	開講学期	後期
対象学年	1	単位数	2
科目責任者	白川 正樹	ナンバリング	7010
科目担当者			
白川 正樹			
授業の概要			
<p>・教育の理念、歴史、思想について学ぶとともに、子ども・教員・家庭・社会・学校など教育を成り立たせる要素と教育の相互関係について考える。</p> <p>・現代社会における教育課題を教育の理念と教育及び学校の歴史の変遷の観点から考える。</p>			
授業の達成目標			
<p>・教育に関する理念や基本的概念を理解している。</p> <p>・教育の本質、必要性、目的を理解している。</p> <p>・家族と社会による教育の歴史並びに近代教育制度の成立と展開を理解している。</p> <p>・教育の歴史の変遷と現代の教育的課題の関りを理解している。</p> <p>・家庭や子ども、地域社会に関わる教育の思想と学校との関わりを理解している。</p> <p>・学校と学習に関わる教育の思想と実践を理解している。</p>			
成績評価方法			
定期試験(50%)、レポート(30%)、授業への参加度(20%)により総合的に評価する。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
教職課程の履修者にとって、その学修を進めていく上で、基礎となる知識や考え方を涵養する科目の一つである。受講のためには、毎回の授業の予習と復習に着実に取り組み、積極的な態度で本科目に臨んで欲しい。			
テキスト・参考書			
<p>《テキスト》</p> <p>授業時にプリントを配布する。</p> <p>《参考書・参考資料等》</p> <p>・島田和幸・高宮正貴編集『教育原理(よくわかる! 教職エクササイズ)』2018年</p> <p>・汐見 稔幸・伊東 毅・高田 文子・東 宏行・増田 修治編著『よくわかる教育原理』2011年</p> <p>・田嶋 一・中野 新之祐・福田 須美子・狩野 浩二編著『やさしい教育原理 第3版』2016年</p>			
オフィシアワー			
火曜日、木曜日10:00～14:00 場所:教職課程指導室(616号) メールアドレス:m.shirakawa.um@juntendo.ac.jp			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
授業内で適宜フィードバックを行う。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	白川 正樹	ガイダンス、教育とは何か (本講義の概要、人間とは何か、人間社会と教育、教育・形成・教化、教育と教授)	【予習】教育とは何かについて調べておくこと。(2時間) 【復習】プリントを読み直して授業内容を復習すること。(2時間)
2	白川 正樹	教育の目的 (社会モデルと子弟モデル、公教育の成立、3R's、実質陶冶・形式陶冶、教育基本法第1条)	【予習】公教育の成立過程について調べておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)
3	白川 正樹	こどもの発達 (「こどもの発見」、子供観の変遷、成長・成熟・発達をめぐる理論)	【予習】子どもの成長・成熟・発達について調べておくこと。(2時間) 【復習】視聴するVTRのURLを指定する。(2時間)
4	白川 正樹	共同体社会の教育と近代以降の教育 (近代以前の教育、共同体社会の教育)	【予習】近代以前の教育の概略について調べておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)

		目的, 共同体社会の人間形成システム, 近代以降の教育, 方法的社会化)	
5	白川 正樹	学校の歴史 (徒弟制度と学校方式, 日本・欧米・アジアの学校の歴史, 公教育の思想)	【予習】公教育と私教育の違いについて調べておくこと。(2時間) 【復習】講義終了後に提示する課題を次週授業までに作成・提出。(2時間)
6	白川 正樹	海外の教育史(古代ギリシャの教育史と近代の教育思想) (古代ギリシャの教育, ソクラテス, プラトン, アリストテレス, コメニウスロック, ルソーらの教育思想)	【予習】古代ギリシャの哲学者と近代の教育家の思想について調べておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)
7	白川 正樹	海外の教育史(近代教育学の成立) (近代教育学の理論, ペスタロッチ, フレーベル, ヘルバルト, デューイらの教育思想)	【予習】近代教育学の思想について調べておくこと。(2時間) 【復習】視聴するVTRのURLを指定する。(2時間)
8	白川 正樹	日本の教育史 (近世の文字文化, 近代学校の成立, 公教育の普及, ヘルバルト学派と新教育, 戦後の学校教育)	【予習】戦前と戦後の教育制度の違いについて調べておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)
9	白川 正樹	教師の仕事と学校① 教育法制と教育行政 (学校教育に関する諸法規, 教職員に関する諸法規, 教育行政に関する法規, 教育政策と教育行政)	【予習】教育関係法規について調べておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)
10	白川 正樹	教師の仕事と学校② 教育課程とカリキュラム (教育課程とは, カリキュラムとは, カリキュラムの類型, カリキュラム・マネジメント, 学習指導要領とその変遷)	【予習】教育課程とカリキュラムの違いについて調べておくこと。(2時間) 【復習】最近の新聞記事から教育行政に関する記事を探し, それをもとにレポートを作成。(2時間)
11	白川 正樹	教師の仕事と学校③ 授業実践と教育評価 (授業計画, 学習指導案の作成, 学習形態, 発問・板書・ノート指導)	【予習】学習指導案の作成上の留意点について調べておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)
12	白川 正樹	教師の仕事と学校④ 学校・学級の経営, 教師としての成長 (学校経営, 教職員の職務, 職員体制, 学校経営, 学び続ける教師, 教員のキャリアステージ)	【予習】教員の職務と研修制度について調べておくこと。(2時間) 【復習】視聴するVTRのURLを指定する。(2時間)
13	白川 正樹	社会教育と生涯学習 (社会教育とは, 社会教育施設と職員, 生涯学習, 社会学習, 生涯学習の取り組みと課題)	【予習】社会教育施設の種類と役割について調べておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)
14	白川 正樹	地域社会と学校 (地域と学校の連携, コミュニティー・スクール, 学校評議員制度, 地域学校協働活動)	【予習】これまでの本講義の内容・ノートを読み直しておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)
15	白川 正樹	現代日本の教育課題 (いじめ, 不登校, 国際化・情報化とこれからの教育, まとめ, ディスカッション)	【予習】ディスカッションの準備。(2時間) 【復習】これまでの授業を振り返り, 現代日本の教育課題について自分の考えをまとめておくこと(2時間)

2020/07/31(金)15:24

授業科目名	教職概論		授業形態	講義
英語科目名	Introduction to the Teaching Profession		開講学期	後期
対象学年	1		単位数	2
科目責任者	石田 美清		ナンバリング	7011
科目担当者				
石田美清				
授業の概要				
教育観や教職観、教職の意義と役割、教師の資質能力について理解し、意欲・関心を高めるだけでなく、教員免許制度、養成教育、採用と研修、職務、教員評価の基礎・基本的内容と事項について知識・理解を深め、教職生活全体を通じて教員の資質能力を総合的に向上させる基礎を培う。最新の中央教育審議会答申等やチーム学校などの教育動向についても取り扱う。				
授業の達成目標				
①我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義について理解している。②教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力について理解している。③教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務について理解している。④学校の担う役割が拡大・多様化する中で学校が内外の専門家等と連携・分担して対応するチーム学校運営について理解している。				
成績評価方法				
形成的評価のために毎回小テストを行うが、成績評価は、定期試験(95%)、課題レポート等(5%)によって行う。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
○教員の職務から必然的に求められる基礎的基本的な資質能力を育成する。遅刻、無断欠席は厳禁。 ○授業中にインターネットで資料の検索を行うので、パソコン、タブレット端末、スマートフォンが必要である。				
テキスト・参考書				
【教科書】 赤星晋作編『新教職概論(改訂新版)』学文社、2019。				
オフィスアワー				
オフィスアワー一覧を確認のこと。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
形成的評価のための小テストを授業中に返却する。また、定期試験の結果は開示する。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	石田美清	ガイダンス;講義の方法・概要・評価について説明する。また、本講義を学ぶ意味を説明し、公教育における教員の存在意義について考える。	【予習】教職も含めた将来就きたい職業について調べておく。(90分) 【復習】教員と他の職業について、年収、福利厚生、やりがい等比較して整理する。(90分)	
2	石田美清	よい先生・そうでない先生(1);受講生の受けた学校教育の中でよかった先生について発表し、他の職業との比較を通じて、教職の特性を理解する。	【予習】九分割表を用いて、「よい先生」について作図する。(90分) 【復習】「よい先生」の資質能力について整理する。(90分)	
3	石田美清	よい先生・そうでない先生(2);受講生の受けた学校教育の中でよくなかった先生について発表し、他の職業との比較を通じて、教職の特性を理解する。	【予習】九分割表を用いて、「よくなかった先生」について作図する。(90分) 【復習】「よくなかった先生」の資質能力について整理する。(90分)	
4	石田美清	教育観と教職観;わが国の様々な教育観や教職観の変遷について学ぶ。	【予習】教科書第1章の教育観と教職観を熟読して課題を抽出しておく。(90分) 【復習】授業中に配布した教育思潮を復習して教職観を整理する。(90分)	
5	石田美清	教職の意義と役割;教職の歴史を概観し、現代の教師への期待と責任、役割について学ぶ。	【予習】戦前と戦後の学校教育の違いについて調べておく。(90分) 【復習】文部科学省のHP、教員経験者のブログなどにより、教師の仕事について感想をまとめる。(90分)	
		教師の資質能力;文部科学省の審議会の答申を中心に、求められる教師の基	【予習】文部科学省のHPより、教員に関する中央教育審議会答申を検索できるようにしておく。(90分)	

2020/07/30(木)11:22

授業科目名	学校経営論	授業形態	講義 グループ討議
英語科目名	School Management	開講学期	後期
対象学年	2	単位数	2
科目責任者	阿部 博之	ナンバリング	7012
科目担当者			
阿部 博之(実務経験有り)			
授業の概要			
<p>[授業全体の内容]</p> <p>現代の学校教育に関する社会的・制度的又は経営的事項について、基礎的な知識を身につけるとともに、それらに関連する課題を理解する。また、学校と地域との関連に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身につける。具体的には、学校の機能・学校と教育行政・教員の専門性・学習指導と教育課程・学校事務・学校財務と接遇・学校の危機管理・地域住民や保護者の学校への期待・体罰防止・パワハラやセクハラ防止などを理解し、教員としての資質を養う。</p> <p>この授業は講義とグループ討議(演習)の二本立てとし、意見交換を積極的に行う。加えて毎時、既習内容の確認テストを実施する。</p>			
<p>[授業の位置付け]</p> <p>○予習・復習を前提に授業に臨み、常に高い目標を目指して努力する。</p> <p>○幅広い知識と高い専門性を兼ね備えた教員としての資質を養う。</p> <p>○協働で課題を解決するために必要なコミュニケーション能力や教師としての倫理観を涵養し、学校経営に参画できる教師としての必須な資質を養い、以て教員採用試験に挑戦する端緒とする。</p>			
授業の達成目標			
<p>○学校を取り巻く社会の変化を理解している。</p> <p>○組織としての学校の特質と学校運営の仕方を理解し、これからの学校はどうあるべきか、学校経営の在り方を理解している。</p> <p>○多様化している生徒指導の要点を理解している。</p> <p>○日本と欧米の教育の長所と短所を例示することができる。</p> <p>○教育関係法規を理解している。</p> <p>○教育行政の仕組みを理解している。</p> <p>○学級経営の要点を理解している。</p> <p>○生徒・保護者・教員とのコミュニケーションを円滑に行える。</p> <p>○教職員や学校外の関係者・関係機関との連携・協働の在り方を理解している。</p> <p>○開かれた学校づくりの方法を理解している。</p> <p>○学校での生活安全管理・交通安全管理・災害安全管理の具体的な取組を理解している。</p> <p>○学校の危機管理(クレーム対応を含む)を理解している。</p> <p>○体罰防止、パワハラ・セクハラ防止について理解している。</p>			
成績評価方法			
<p>・次のとおり評価し、到達目標を踏まえた上で総合的に判断して単位を付与する。</p> <p>1. 基礎となる評価: 試験の成績、授業態度、出席時の授業への参加状況</p> <p>2. 積上げとなる評価: 毎時行う確認テストとグループ討議の報告の提出状況とその質的内容</p> <p>・定期試験(50%)、確認テスト(20%)、グループ討議報告(20%)、授業への積極的参加態度(10%)により総合的に評価する。</p>			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
<p>・中学校や高等学校の教員を目指したい人は勿論のこと、教職に対して興味・関心をもっている人が受講すること。</p> <p>・教育実習校や母校の学校要覧・教育目標を読み込む。</p> <p>・マスコミの教育関連ニュースや記事に関心を持ち、教育現場の今日的課題について情報を収集し、その対応策の視点をもって授業に臨む。</p> <p>・授業への出席は極めて厳しい水準を要求する。遅刻・早退をせず出席すること。</p>			
テキスト・参考書			
<p>《《テキスト》》</p> <p>特になし。授業の時にプリントを配付する。</p> <p>《《参考書・参考資料等》》</p> <p>「教育小六法」、「学校経営」を論ずる各種書籍、「中学校・高等学校学習指導要領 総則編」(文部科学省)、「中学校・高等学校学習指導要領解説 総則編」(文部科学省)、「東京都立学校の管理運営に関する規則」(東京都教育委員会)、母校の学校要覧・教育目標、教育関連のニュース・新聞記事等</p>			

オフィスアワー			
授業の前後とする(時間:火曜日)			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
授業の中で行う。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	阿部 博之	授業の進め方と受講心得 教育とは、学校とは、学校教育とは、学校の種類、学校の設置者、学校の現状 授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、これからの学校の在り方についてグループ(以下「G」と表記)討議をする。	【予習】教育とは何か、学校教育とは何か、さらに、学校の種類や学校の設置者について調べておくこと。(参考:「教育基本法」「学校教育法」)など(90分) 【復習】授業全体のイメージをつかむこと。また、学校教育は様々な法規等で定められていることを確認し、「教育」、「学校」、「学校の種類」、「学校の設置者」を確認し整理しておくこと。(90分)
2	阿部 博之	学校教育と教育法規 (憲法・教育基本法・地方公務員法・教特法・法規法令・学校教育法・同施行規則) 確認テスト。G討議発表。授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、服務事故事例研究のG討議をする。	【予習】学校教育を規定する法規を読み込んでおくこと。特に教育に関わる憲法、教育基本法にどのようなことが記載されているかを調べておくこと。(90分) 【復習】教育や教職員に関わる様々な法規等を確認し整理しておくこと。(90分)
3	阿部 博之	教育行政(地教行法)と学校、教育委員会制度地教行法と学校の関係、新しい教育委員会制度、日本の学校教育の優れている点と改善すべき点 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、日本の学校教育の優れている点と改善すべき点(欧米と比較して)についてG討議をする。	【予習】教育委員会と学校の関係はどの法規に示されているのかと内容について調べておくこと。(90分) 【復習】教育委員会と学校の関わりについて確認し整理しておくこと。(90分)
4	阿部 博之	学校経営と組織マネジメント① 学校の管理・運営、学校経営方針、学校運営組織、個人研究 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、学校経営方針の策定(どんな学校を創りたいか)について個人研究をする。	【予習】学校の管理・運営の内容を調べておくこと。母校の学校教育目標についても調べておくこと。(90分) 【復習】学校の管理・運営について確認し整理しておくこと。学校ごとに定められている学校教育目標について確認し整理しておくこと。(90分)
5	阿部 博之	学校経営と組織マネジメント② 組織マネジメント、学校経営戦略、学級経営・学年経営、私の理想の教師像、学校経営に当たっての基本的なこと 確認テスト、個人研究発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、学校経営に当たって基本的なこと(4つの側面)についてG討議をする。	【予習】学校の管理・運営組織の内容を調べておくこと。4Mの条件やPDCAサイクルの内容を調べておくこと。学級や学年、教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動などについて調べておくこと。また、成果を挙げている学校の経営戦略を調べておくこと。(90分) 【復習】4Mの条件やPDCAサイクルを確認し整理しておくこと。自分の目指す教師像を確立する(90分)
		学校の組織(校務分掌・職員会議・主任) 校務分掌の決定	【予習】校務分掌とは何か。職員会議の果たす役割を調べておくこと。

6	阿部 博之	職員会議の機能と運営 主任の役割、桃太郎の鬼退治を学校経営に例えると 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、「桃太郎の家来の能力、鬼退治を学校経営に例えると」についてG討議をする。	と。「参考：東京都立学校の管理運営に関する規則など」、また、母校の学校要覧又は学校案内に目を通しておくこと。主任の仕事調べておくこと。(90分) 【復習】校務分掌について整理しておくこと。職員会議の位置付けについて理解し整理しておくこと。主任の役割について確認しておくこと。桃太郎の鬼退治と学校経営について整理しておくこと。(90分)
7	阿部 博之	教育課程に関わる組織運営、学習指導に関わる組織運営、学力(学力の樹)とは、深い学び、進路実現の戦略 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、①深い学び②進路実現のための戦略、についてG討議をする。	【予習】「中学校・高等学校学習指導要領解説総則編」の「指導計画の作成」等を調べておくこと。また、第3章第5節「教育課程実施上の配慮事項」について調べておくこと。(90分) 【復習】学校の大きな柱である「学習指導」の指導計画・編成とそれに関わる組織について確認し整理しておくこと。また、「深い学び」について確認し整理しておくこと。(90分)
8	阿部 博之	生徒指導に関わる組織運営(学級・学年・授業・特別活動・校則) 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、校則についてG討議をする。	【予習】生徒指導に関わる組織として「学年経営・学級経営・授業経営・特別活動・進路指導・校則」について調べておくこと。(90分) 【復習】生徒理解の上で成り立っている「生徒指導・進路指導」について、その内容と組織的に実施(運営)されていることを確認し整理しておくこと。(90分)
9	阿部 博之	生徒指導(問題行動・子どもの心のサイン・絆づくり) 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、いじめ防止(心の居場所づくり)についてG討議をする。	【予習】いじめの未然防止について調べておくこと。(90分) 【復習】いじめの未然防止と「絆づくり」と「居場所づくり」について確認し整理しておくこと。(90分)
10	阿部 博之	学校事務、施設・設備と学校財務、 サービス事故事例研究 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、サービス事故事例研究のG討議をする。	【予習】学校事務の果たす役割について調べておくこと。施設・設備の管理と学校財務について調べておくこと。(90分) 【復習】学校財務の果たす役割について確認し整理しておくこと。施設・設備の管理と学校財務について確認し整理しておくこと。(90分)
11	阿部 博之	学校の危機管理 学校の危機管理とは、防犯、交通安全、サービス事故事例研究 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、サービス事故事例研究のG討議をする。	【予習】学校の危機管理とは何か、自分の考えと対応策を考えておくこと。(90分) 【復習】学校の危機管理の内容と対応策を確認し整理しておくこと。(90分)
12	阿部 博之	学校の危機管理 食物アレルギー・心臓突然死・災害安全、サービス事故事例研究 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿ってG討議をする。その上で、サービス事故事例研究のG討議を	【予習】防犯や防災での安全対策と様々な学校の危機管理とは何か、自分の考えと対応策を考えておくこと。(90分) 【復習】防犯や災害安全を確認し整理し、対応策をしっかりと身に付けること。(90分)

2020/07/30(木)11:23

授業科目名	教育心理学		授業形態	講義
英語科目名	Educational Psychology		開講学期	前期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	吉武 尚美		ナンバリング	7013
科目担当者				
吉武 尚美				
授業の概要				
教育心理学は、子どもの発達や学習に関する心理学の理論や概念をもとに、現場との協同を経て教育の改善に資する理論的・実践的知見を得る学問である。現在すでに、認知、発達、社会心理学の研究結果をはじめ、神経科学の知見が教育には応用されている。本コースは、教育に関心のある学生に向けて、「発達」「学習」「評価」「特別支援」の4つをテーマに据え、一般原則、理論、テーマ、研究を概説しながら、教育と心理学への興味関心を深めることを目標とする。受講生は、学習と教授法の土台をなす心理学について学び、教師としてあるいは人間の行動に関する生涯学習者としてその成果を用いることが期待される。				
授業の達成目標				
1. 幼児・児童・生徒の発達や行動について教育心理学の観点から理解することができる 2. 教育心理学の知見を自分の経験と照らし合わせ、自分なりの意見を持つことができる 3. 教育現場が抱える問題について、教育心理学の知見をもとに、その解決策について自分の考えを持つことができる				
成績評価方法				
1. 成績評価方法 授業の振り返り(10%)、中間テスト・宿題 (35%)、課題レポート (15%)、期末試験 (40%) 2. 成績評価基準 ・教育に関連する心理学の理論、概念、研究者を正しく理解しているか ・研究者兼教育者として、仮説検証プロセスを適切に実行できるか ・心理学を日常生活に応用し、自らの行動や他者の理解に役立てようとしているか ・リサーチ、発表スキル、グループ学習に意欲的に取り組んでいるか				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
・「心理学概論」を受講していることが望ましい。 ・子どもや教育に関する動向には常に関心を向け、問題意識を持って授業に臨むこと。 ・テキストは最終授業までに2回読破すること。 ・講義、ディスカッション、体験活動で構成します。アクティブに学ぶ姿勢を持つこと。				
テキスト・参考書				
テキスト: 田爪宏二(編著)『教育心理学』(ミネルヴァ書房) 参考書: 桜井茂男『たのしく学べる最新教育心理学—教職にかかわるすべての人に』(図書文化) Santock, J.W. (2011). Educational Psychology. New York: McGraw-Hill				
オフィスパワー				
月曜日 & 金曜日 12:00~13:00				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
・リアクションペーパーの記載内容は授業内でフィードバックする。 ・レポート課題提示はJuntendo-Passportを使用して行う。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	吉武 尚美	受講ガイダンス 授業目的と展開を説明する。	【予習】教育とは何か、心理学とは何かについて調べる(90分) 【復習】教科書の該当箇所を読む(90分)	
2	吉武 尚美	学習(1) 行動主義心理学における学習理論を学び、叱ること、ほめること、体罰の功罪について考える。	【予習】教科書の該当章を読む。加えて、教育現場における体罰の影響を考える(90分) 【復習】教科書および配布資料を読み、体罰の防止と公正な指導のあり方を理解する(90分)	
3	吉武 尚美	学習(2) 学習のメカニズム① 認知心理学から見た学習プロセスや、高度な認知プロセスを学ぶ。	【予習】自分の試験前の勉強法とその効果を振り返る。メタ認知について調べる(90分) 【復習】教科書を読み、情報処理理論の理解を深める(90分)	
		学習(3) 【ピアティーチング#1】	【予習】学習に対するやる気を高める方法(なるべく多く)とその効果	

4	吉武 尚美	動機づけ理論を学び、動機づけを高める授業のあり方について考える。	をまとめる(90分) 【復習】教科書を読み、学習意欲の定義と研究の動向について把握する(90分)
5	吉武 尚美	発達(1) 認知能力の発達 ピアジェの理論を学ぶとともに、言語発達や、数概念の発達の様相を理解し、発達段階を考慮した教授方法について考える。	【予習】発達に寄与する遺伝と環境に関する諸説を調べる(90分) 【復習】教科書を読み、学習者の発達段階に応じた学習指導のあり方を確認する(90分)
6	吉武 尚美	発達(2) 人格の発達 エリクソンの心理社会的発達段階理論を中心に、自己概念の発達について学び、教師としての適切な関わり方について考える。	【予習】アイデンティティについて調べ、自分のアイデンティティを考える(90分) 【復習】教科書を読み、人格発達の諸理論の理解を定着させる。自分のアイデンティティの確立状況について考えてみる(90分)
7	吉武 尚美	【中間テスト】 発達(3) 社会性の発達 Bronfenbrennerの理論について学び、子どもを取り巻く環境についての意識を高める。	【予習】親と友だちが人格形成に及ぼす役割について考える(90分) 【復習】教科書を読み、理解を定着させる(90分)
8	吉武 尚美	学級の心理学 学級集団の特徴、教師と子どもの関係、子ども同士の関係について学ぶ。	【予習】自らの経験やリサーチを通して理想の教師の条件を5つ考える(90分) 【復習】教科書を読み、学級集団における教師の役割と影響について理解を定着させる(90分) 【レポート課題】授業内で提示する
9	吉武 尚美	学習の心理学 学習指導の理論、協同学習、学習の個性化について学ぶ。	【予習】「わかる授業」とは何か、自分の経験を踏まえながら考えてくる(90分) 【復習】教科書を読み、学習指導の理論の理解を定着させる(90分)
10	吉武 尚美	教育測定と教育評価(1) 教育評価の情報収集、テストの方法、知的能力の測定について学ぶ 【研究発表会】	【予習】教育評価の定義、種類、特徴を調べる(90分) 【復習】教科書を読み、よりよい評価について理解を深める(90分)
11	吉武 尚美	教育測定と教育評価(2) 教育評価の定義と目的、さまざまな評価方式を学ぶ。	【予習】「頭がいい」とはどんな意味か、自分の経験を踏まえながら要素を3つ考えてくる(90分) 【復習】教科書を読み、個性を重視した視点と評価の方法について理解を深める(90分)
12	吉武 尚美	問題を抱える子どもの理解と支援(1) 学習機能や行動の発達の障がいを持つ幼児・児童・生徒に対し、効果的な特別支援教育を提供するための基礎的な知見を学ぶ。	【予習】これまでの学校経験で特別な教育的ニーズをもっていると感じた同朋に対する自分および教師の関わりを振り返る(90分) 【復習】知能検査の概要を理解するとともに、発達障害について基礎的な知識と関わり方を整理する(90分)
13	吉武 尚美	問題を抱える子どもの理解と支援(2) 【ピアティーチング#2】 精神的不適応、不登校、いじめ、学級崩壊の実態について学ぶ。	【予習】学校不適応の様相とその原因について調べる。ピアティーチングの準備をする(90分) 【復習】教科書を読み、子どもの不適応についての理解を深める(90分)
14	吉武 尚美	問題を抱える子どもの理解と支援(3) 困難に直面する子どもに対する学校カウンセリングの役割や方法について学ぶ。	【予習】スクールカウンセリングの目的と実態について調べる(90分) 【復習】代表的なカウンセリングの特徴を整理し、理解を深める(90分)

2020/08/19(水)09:43

授業科目名	特別支援教育論	授業形態	講義・オムニバス
英語科目名	Education for Special Needs	開講学期	後期
対象学年	2	単位数	2
科目責任者	渡邊 貴裕	ナンバリング	7014
科目担当者			
渡邊 貴裕・柴田展人・飯嶋正博・尾高邦生・渡正			
授業の概要			
<p>【授業全体の内容】 本科目は、講義の授業形態により行われる。通常の学級にも在籍している特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加し、生きる力を身に付けていくことができるようにするため、彼らの学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を学修する。</p> <p>【授業の位置づけ(学位授与方針に定められている知識・能力等との関連)】 この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「健康に関する専門性を活かし、人づくり、社会づくりに貢献できる能力」を身に付ける。</p>			
授業の達成目標			
<p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解している。 2. 発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の心身の発達、心理的特性、病理・生理及び学習の過程を理解している。 3. 視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む様々な障害のある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難について基礎的な知識を身に付けている。 4. 発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する支援の方法について例示することができる。 5. 「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置付けと内容を理解している。 6. 特別支援教育に関する教育課程の枠組みを踏まえ、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解している。 7. 特別支援教育コーディネーター、関係機関・家庭と連携しながら支援体制を構築することの必要性を理解している。 8. 母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性を理解している。 			
成績評価方法			
<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援教育の概念について理解しているかを、テストによって評価する。 2. 特別支援教育の現状及び課題について、課題レポートから評価する。 <p>【成績評価の方法】 日々の学習状況(10%)、定期試験(60%)、課題レポート(30%)で評価する。なお、授業態度が授業進行上においてふさわしくないと判断した場合は、減点の対象とします。</p>			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
<p>【履修要件】 特別支援教育論の単位取得後に、障害者教育総論等、特別支援学校教員免許状取得に関係する科目を履修することが望ましい。</p> <p>【履修上の注意(科目独自のルール)】 一回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。また、遅刻及び総体3回で、1回分の欠席としてカウントする。</p> <p>【課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法】 学生同士のディスカッションに対しては、毎回の授業中に解説をすることでフィードバックする。定期試験については、Juntendo Passportを使って解説する。</p>			
テキスト・参考書			
<p>【テキスト・参考書等】 中学校学習指導要領(最新版 文部科学省) 中学校学習指導要領解説、総則編(最新版 文部科学省)</p>			

高等学校学習指導要領(最新版 文部科学省) 高等学校学習指導要領解説、総則編(最新版 文部科学省) 特別支援学校幼稚部教育要領、小学部・中学部学習指導要領、高等部学習指導要領(最新版 文部科学省) 特別支援学校学習指導要領解説(最新版 文部科学省) 適宜、資料を配布する。
オフィスアワー
【連絡先】 担当: 渡邊 貴裕 E-mail: tkwatana[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。
【オフィスアワー】 日時: 火曜日 13時～15時 木曜日 10時～12時 場所: 1号館2階1219号室
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法
【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。
【実務経験のある教員による授業】 この授業は、実務経験のある教員による授業であり、授業担当者が特別支援学校教諭の勤務経験を持ち、その経験を踏まえた実践的な内容を教授する授業である
【その他】

授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	渡	(授業内容)「障害」という言葉の概念とその制約について理解する。 (授業方法)授業内容に関して講義を聞いた後、個人で考え、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	【予習:2時間】 J-Pass上に資料を提示しておくので各自読んでから授業を受ける。 【復習:2.5時間】 授業の概要についてレポートにまとめる。
2	渡	(授業内容)障害者権利条約の批准とそれを受けての国内の法体制整備について理解する。 (授業方法)授業内容に関して講義を聞いた後、個人で考え、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	【予習:2時間】 J-Pass上に資料を提示しておくので各自読んでから授業を受ける。 【復習:2時間】 授業の概要についてレポートにまとめる。
3	渡邊	(授業内容)インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解する。 (授業方法)インクルーシブ教育についてのVTRを視聴し、支援方法についてグループワークを行う。	【予習:2時間】 J-Pass上に資料を提示しておくので各自読んでから授業を受ける。 【復習:2.5時間】 授業の概要についてレポートにまとめる。
4	柴田	(授業内容)特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の心身の発達と、心理的特性及び学習過程を理解する。 (授業方法)発達障害についてのVTRを視聴し、支援方法についてグループワークを行う。	【予習:2時間】 J-Pass上に資料を提示しておくので各自読んでから授業を受ける。 【復習:2時間】 授業の概要についてレポートにまとめる。
5	柴田	(授業内容)特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の生理・病理について理解する。 (授業方法)特別支援教育についてのVTRを視聴し、支援方法についてグループワークを行う。	【予習:2時間】 J-Pass上に資料を提示しておくので各自読んでから授業を受ける。 【復習:2.5時間】

		(授業方法)医療機関における事例を視聴し、授業内容に関連した質問を小グループで話し合う	授業の概要についてレポートにまとめる。
6	渡邊	(授業内容)視覚障害・聴覚障害の特性とその支援について理解する。 (授業方法)視覚障害・聴覚障害について、授業内容に関連した質問を小グループで話し合う	【予習:2時間】 J-Pass上に資料を提示しておくので各自読んでから授業を受ける。 【復習:2時間】 授業の概要についてレポートにまとめる。
7	飯嶋	(授業内容)肢体不自由・病弱の障害特性とその支援について理解する。 (授業方法)肢体不自由・病弱について、授業内容に関連した質問を小グループで話し合う	【予習:2時間】 J-Pass上に資料を提示しておくので各自読んでから授業を受ける。 【復習:2.5時間】 授業の概要についてレポートにまとめる。
8	尾高	(授業内容)知的障害の障害特性とその支援について理解する。 (授業方法)知的障害について、授業内容に関連した質問を小グループで話し合う	【予習:2時間】 J-Pass上に資料を提示しておくので各自読んでから授業を受ける。 【復習:2時間】 授業の概要についてレポートにまとめる。
9	渡邊	(授業内容)特別支援教育に関する教育課程について理解する。 (授業方法)特別支援学校についてのVTRを視聴し、支援方法についてグループワークを行う。	【予習:2時間】 J-Pass上に資料を提示しておくので各自読んでから授業を受ける。 【復習:2.5時間】 授業の概要についてレポートにまとめる。
10	飯嶋	(授業内容)「自立活動」及び「通級による指導」の教育課程上の位置付けと内容について理解する。 (授業方法)授業内容に関して講義を聞いた後、個人で考え、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	【予習:2時間】 J-Pass上に資料を提示しておくので各自読んでから授業を受ける。 【復習:2時間】 授業の概要についてレポートにまとめる。
11	尾高	(授業内容)特別支援教育コーディネーター及び家庭、関連機関との連携について理解する。 (授業方法)授業内容に関して講義を聞いた後、個人で考え、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	【予習:2時間】 J-Pass上に資料を提示しておくので各自読んでから授業を受ける。 【復習:2.5時間】 授業の概要についてレポートにまとめる。
12	飯嶋	(授業内容)外国籍及び貧困による特別の教育的ニーズとその対応について理解する。 (授業方法)授業内容に関して講義を聞いた後、個人で考え、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	【予習:2時間】 J-Pass上に資料を提示しておくので各自読んでから授業を受ける。 【復習:2時間】 授業の概要についてレポートにまとめる。
13	渡	(授業内容)障害者スポーツの国際競技大会について理解する。 (授業方法)パラリンピック、スペシャルオリンピックス、デフリンピックについてのVTRを視聴し、授業内容に関連した質問を小グループで話し合う	【予習:2時間】 J-Pass上に資料を提示しておくので各自読んでから授業を受ける。 【復習:2.5時間】 授業の概要についてレポートにまとめる。
14	尾高	(授業内容)日本の障害者スポーツの歴史と展望、指導者養成制度について理解する。 (授業方法)全国障がい者スポーツ大会等についてのVTRを視聴し、授業内容に関連した質問を小グループで話し合う	【予習:2時間】 J-Pass上に資料を提示しておくので各自読んでから授業を受ける。 【復習:2.5時間】 授業の概要についてレポートにまとめる。

		定期試験	

2020/07/30(木)11:25

授業科目名	教育課程論		授業形態	講義
英語科目名	Curriculum Theory		開講学期	前期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	石田 美清		ナンバリング	7015
科目担当者	石田美清			
授業の概要	歴史的な観点から「教育課程」に関連した用語の意味を理解し、また各国の学校の教育内容の違いをもとに、わが国の教育課程の特色を理解する。昭和22年以降の社会的背景を踏まえた学習指導要領の改訂の内容を理解し、さらに平成29年の中央教育審議会答申の意義、並びに学校教育制度改革の進行をもとにして、実際の教育課程編成におけるカリキュラムマネジメントについて理解を深める。			
授業の達成目標	①学校において教育課程が有する役割・機能・意義について理解している。②教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法について理解している。③教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校の教育課程全体をマネジメントすることの意義について理解している。			
成績評価方法	形成的評価のために毎回小テストを行うが、成績評価は、定期試験(95%)、課題レポート等(5%)によって行う。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	○教員の職務から必然的求められる基礎的基本的な資質能力も育成する。遅刻、無断欠席は厳禁。 ○授業中にインターネットで資料の検索を行うので、パソコン、タブレット端末、スマートフォンが必要である。			
テキスト・参考書	【参考書】 ○文部科学省『中学校学習指導要領解説総則編』東山書房、平成29年。 ○文部科学省『高等学校学習指導要領解説総則編』東山書房、平成30年。			
オフィスアワー	オフィスアワー一覧を確認のこと			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	形成的評価のための小テストを授業中に返却する。また、定期試験の結果は開示する。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	石田美清	ガイダンス;講義の方法・概要・評価について説明する。	【予習】小学校、中学校、高等学校で体験した時間割を想起しまとめておく。(90分) 【復習】教科・領域、時間数など、学校種の違いについて整理する。(90分)	
2	石田美清	言葉の定義;教育課程、カリキュラム、学習指導要領など関連用語を歴史的視点から整理して、学校の教育内容の編成を理解する。	【予習】教育課程、カリキュラム、学習指導要領の意味についてインターネットで調べる。(90分) 【復習】Curriculum、Course of Study、教科課程、教育課程、カリキュラムについて説明できるよう復習する。(90分)	
3	石田美清	世界の学校とカリキュラム;世界の学校の三類型と教育内容の違いについて理解する。	【予習】二宮皓編著『世界の学校』(学事出版)により、世界の学校教育の違いについて学習しておく。(90分) 【復習】インターネットにより、ヨーロッパと英米の学校のカリキュラムを調べる。(90分)	
4	石田美清	学習指導要領の法的位置づけ;憲法、学校教育法、学校教育法施行規則、文部科学省通知等における学習指導要領の位置づけについて理解する。	【予習】学校関連法を調べ、憲法、学校教育法、同施行規則、文科省通知の法体系を理解しておく。(90分) 【復習】学習指導要領の法的位置づけについて最高裁判所判例を調べる。(90分)	
5	石田美清	学習指導要領の理解(1);昭和22年と昭和26年の学習指導要領の内容とその社会的背景について理解する。	【予習】昭和20年9月2日から昭和27年までの日本教育史を理解しておく。(90分) 【復習】GHQ、CIE、米国教育使節団のカリキュラムの考え方を整理する。(90分)	
		学習指導要領の理解(2);昭和33年(中学校)と昭和35年(高等学校)の学習指	【予習】日本が独立した昭和27年以降の日本教育史を理解してお	

6	石田美清	導要領の内容、さらに道徳の時間の新設の背景について理解する。	く。(90分) 【復習】「道徳の時間」が導入された経緯について調べる。(90分)
7	石田美清	学習指導要領の理解(3);昭和44年(中学校)と昭和45年(高等学校)の学習指導要領の内容、さらにクラブ活動必修化の背景について理解する。	【予習】「期待される人間像」など高度成長期の日本教育史について学習しておく。(90分) 【復習】教育内容の現代化について説明できるようにする。(90分)
8	石田美清	学習指導要領の理解(4);昭和52年(中学校)と昭和53年(高等学校)の学習指導要領の内容、さらに「ゆとりの時間」について理解する。	【予習】学校教育に「ゆとり」が導入されたのかを調べておく。(90分) 【復習】昭和40年代の学習指導要領の教科領域と比較対照ができるようにする。(90分)
9	石田美清	学習指導要領の理解(5);平成元年の中学校と高等学校の学習指導要領の内容、さらに部活動について理解する。	【予習】平成元年の時代背景について調べておく。(90分) 【復習】「自己教育力」について学習を深める。(90分)
10	石田美清	学習指導要領の理解(6);平成10年(中学校)と平成11年(高等学校)の学習指導要領の内容、さらに「総合的な学習の時間」について理解する。	【予習】平成元年から平成10年の時代背景について調べておく。(90分) 【復習】「総合的な学習の時間」新設の経緯について学習する。(90分)
11	石田美清	学習指導要領の理解(7);平成20年(中学校)と平成21年(高等学校)の学習指導要領の内容、さらに「特別な教科である道徳」について理解する。	【予習】平成15年の学習指導要領一部改訂について中教審答申を調べておく。(90分) 【復習】中教審答申で述べられた子供の実態と課題について学習する。(90分)
12	石田美清	学習指導要領の理解(8);平成28年の中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」の内容を把握し、特に社会に開かれた教育課程、カリキュラムマネジメントについて理解する。	【予習】当該答申を文科省HPより事前に読んでおく。(90分) 【復習】「カリキュラムマネジメント」「アクティブラーニング」について実例を調べる。(90分)
13	石田美清	学習指導要領の理解(9);平成29年(中学校)と平成30年(高等学校)の学習指導要領の内容を理解する。	【予習】教育実行再生会議の報告をもとに、教育改革の動向について学習しておく。(90分) 【復習】小学校、中学校、高等学校の「英語教育」の内容について習熟する。(90分)
14	石田美清	学習指導要領の理解(10);学習指導要領によらない教育課程の編成を行っている研究開発学校、教育課程特例校の事例について理解する	【予習】学校教育法により「研究開発学校」「教育課程特例校制度」を調べておく。(90分) 【復習】「研究開発学校」の事例を探し、その特徴を調べる。(90分)
15	石田美清	全体のまとめと課題の抽出;これまでの講義内容をまとめ、履修カルテの課題を抽出する。	【予習】これまでの授業内容をまとめる。(90分) 【復習】履修カルテに課題を抽出する。(90分)
16	石田美清	定期試験	

2020/08/07(金)15:26

授業科目名	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	授業形態	講義
英語科目名	EducationalDesign for Integrated Studies	開講学期	後期
対象学年	2	単位数	2
科目責任者	吉野 康子	ナンバリング	7017
科目担当者			
竹内秀一 吉野康子			
授業の概要			
<p>第1回・第2回で「特別活動」の教育課程における位置づけや歴史的変遷を明らかにし、その今日的な意義を理解させる。第3回から第10回までで「特別活動」のうちの各活動について、その現状と課題を認識させ、それらを踏まえた指導のあり方を考えさせる。第11回で「特別活動」の評価の仕方について理解させる。</p> <p>第12回は「総合的な学習(探究)の時間」について教育課程における位置づけや育成をめざす資質・能力などその目標について理解させる。第13回・第14回で「総合的な学習(探究)の時間」のカリキュラム・デザインや探求課題の設定、授業づくりのポイントなど指導のあり方について考えさせる。第15回では評価の視点について理解させるとともに授業のまとめを行う。</p>			
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1 中学校・高等学校の教育課程における「特別活動」および「総合的な学習(探究)の時間」の位置づけや意義、内容、指導のあり方についての理解を深める。 2 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「特別活動」および「総合的な学習(探究)の時間」の授業を通じて、生徒が教科の学習で習得した力を総合的に発揮できるような指導力を身につける。 3 「特別活動」では、各教科の学習や「総合的な学習(探究)の時間」、生活指導・進路指導等と関連させた効果的な指導法を工夫する力を身につける。 4 「総合的な学習(探究)の時間」では、適切な課題設定のあり方や指導上の留意点等を踏まえ、他の教育活動とも連携させた授業をデザインする力を身につける。 			
成績評価方法			
<ol style="list-style-type: none"> 1 成績評価方法 <ul style="list-style-type: none"> ①100点を満点として成績を評価する。そのうち「特別活動」の指導法は70点、「総合的な学習の時間」の指導法は30点の割合とする。 ②「特別活動」の指導法については、定期試験の成績(50%)、講義ごとに提出してもらうリアクションペーパーの内容(30%)、授業への出席状況及び積極的な参加度(20%)を評価の対象とし、達成目標を踏まえ総合的に評価する。 ③「総合的な学習の時間」の指導法については、定期考査は実施せず、リアクションペーパーの内容を含む授業への積極的な参加度(80%)、レポート等(20%)を評価の対象とし、達成目標を踏まえ総合的に評価する。 2 成績評価基準 <ul style="list-style-type: none"> ①中学校・高等学校の教育活動における「特別活動」及び「総合的な学習(探究)の時間」の位置づけや意義、内容、指導上のポイントを理解しているか。 ②「特別活動」に含まれる諸活動の現状と課題を踏まえた指導法を工夫し、それを実践する態度・意欲を身につけることができたか。 ③「総合的な学習(探究)の時間」における適切な課題設定のあり方、教科の学習との連携の仕方を理解し、それらを踏まえた授業を構築する意欲的な態度を身につけることができたか。 			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
<ol style="list-style-type: none"> 1 中学校・高等学校の教員を真に志望している者、教職に強い関心を持っている者が受講すること。 2 ディスカッション等では積極的に発言し、履修者同士が互いに学び合う環境を作っていくことが望まれる。 3 授業に出席し、かつ積極的に参加することを評価の対象として重視する。正当な理由の無い遅刻・早退は認めない。 4 リアクションペーパーへの記述、授業の予習・復習については怠ることの無いよう真摯に取り組むこと。 			
テキスト・参考書			
<p>《テキスト》 とくになし(授業時に適宜プリントを配布する)</p> <p>《参考書・参考資料等》 『中学校学習指導要領』、『高等学校学習指導要領』、『中学校学習指導要領解説 特別活動編』、『高等学校学習指導要領 特別活動編』、『中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』、『高等学校学習指導要領 総合的な探究の時間編』、『特別活動論』(犬塚文雄編著／一藝社)、『中学校教育課程実践講座 総合的な学習の時間』(田村学編著／ぎょうせい)など</p>			
オフィスアワー			
<p>竹内 月曜日の授業終了後に教室又は第2教育棟3階非常勤講師室で質問等を受け付ける</p> <p>吉野 月曜日の14:20~14:50及び16:30~17:00</p>			

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
1 リアクションペーパーについては、抜粋したものをプリントにまとめるなどして、授業中それについてコメントしたり議論の対象とするなど有効に活用する。			
2 定期試験については、JUNTENDO-PASSPORTのクロスプロフィール機能を使用して行う。			
3 課題については、提出締切後、授業時間中に返却する。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	竹内秀一	初回ガイダンス ○授業の目標や進め方、履修の仕方や評価方法について 1 新学習指導要領のポイントと特別活動の位置付け～「深い学び」につなげるために～	【予習】新学習指導要領の総則と特別活動の章を読み、疑問点などを整理しておくこと。(90分) 【復習】新学習指導要領のポイントと教育課程における特別活動の位置付けについてまとめる。(90分)
2	竹内秀一	2 特別活動の歴史的変遷～近代的教育制度の始まりから戦後までの特別活動の位置づけを振り返る～ 3 特別活動の基本的な性格～集団活動を通して「個」を育てる教育活動～	【予習】自らが経験した特別活動について発表できるように整理しておくとともに、その経験をもとに特別活動が学校教育において担っている役割について考察する。(90分) 【復習】特別活動の変遷について、何を転機としてどのように変化したかについてまとめる。また、特別活動の学校教育における意義や役割について整理する。(90分)
3	竹内秀一	4 学級活動・ホームルーム活動の目標・内容と指導のポイント～イジメを未然に防ぐクラスづくり～	【予習】自らが中学校・高校で経験した学級活動・ホームルーム活動について、その内容と課題を発表できるようにまとめておく。(90分) 【復習】学級活動・ホームルーム活動の目標を踏まえ、効果的な指導の方法を考え、まとめる。(90分)
4	竹内秀一	5 生徒会活動の目標・内容と指導のポイント～全生徒をもって組織する自主的・自治的活動の意味～	【予習】自分が卒業した中学校・高校の生徒会活動について、とくに生徒会役員の役割、一般生徒の関わり方についてまとめ、発表できるようにする。(90分) 【復習】生徒会活動の目標と現状における課題を整理し、教員としての指導のあり方についてまとめる。(90分)
5	竹内秀一	6 部活動の現状と課題および指導のポイント～部活動のメリット、デメリットを考える～	【予習】自らが経験した部活動について、その問題点をあげ、自分なりの問題解決の方向性をまとめ、発表できるようにしておく。(90分) 【復習】生徒の視点と教員の視点からみた部活動のよりよいあり方について自分の考えをまとめる。(90分)
6	竹内秀一	7 学校行事の位置づけと儀式的行事のねらい～生徒の積極的関わりを促す指導のポイント～	【予習】自分が経験した入学式・卒業式について、その内容と改善点を発表できるようにまとめておく。(90分) 【復習】学校における儀式的行事の意義を踏まえ、生徒が積極的に関わるができるような儀式的あり方について考察しまとめる。(90分)
7	竹内秀一	8 健康安全・体育的行事の現状および課題と教員の役割～とくに体育祭における安全の確保を中心に～	【予習】自分が体験した体育祭について、その内容と安全の確保に関わる課題についてまとめ発表できるようにしておく。(90分) 【復習】体育祭における事故事例について、その原因を踏まえ、改善の方向性を考察しまとめる。(90分)
8	竹内秀一	9 旅行・集団宿泊的行事の指導のポイント～「学び」の場としての修学旅行のあり方を考える～	【予習】自分が経験した修学旅行を踏まえ、修学旅行に関わる問題点を3つあげ、その解決策を考え発表できるようにしておく。(90分) 【復習】修学旅行を学校の教育課程全体の中に位置付けた指導計画を作り、指導上のポイントをまとめる。(90分)
9	竹内秀一	10 特別活動を要とするキャリア教育のあり方～キャリア教育のねらいと特別活動における指導のポイント～	【予習】新学習指導要領を読み込み、学校教育におけるキャリア教育のねらいやあり方について発表できるようにまとめておく。(90分) 【復習】キャリア教育の要としての特別活動における指導のポイントについてまとめる。(90分)

10	竹内秀一	11 特別活動と生徒指導～特別活動の特色を生かした生徒指導のあり方～	【予習】生徒指導における特別活動の役割について、自分なりの考えをまとめておく。(90分) 【復習】特別活動の特色を生かして行う生徒指導の教育効果について説明できるようにまとめる。(90分)
11	竹内秀一	12 特別活動の評価と求められる視点・方法～特別活動の評価の観点と具体的な評価方法～	【予習】特別活動を評価する際の評価の3観点を具体的に挙げるようにまとめておく。(90分) 【復習】特別活動を評価するに当たって留意すべき点を整理し、まとめる。(90分)
12	吉野康子	13 学習指導要領における「総合的な学習(探究)の時間」の位置づけとねらい～教育課程における「総合的な学習(探究)の時間」の位置づけや育成をめざす資質・能力～	【予習】新学習指導要領の総則と総合的な学習(探究)の時間の章を読み、疑問点などを整理しておくこと。(90分) 【復習】教育課程における総合的な学習(探究)時間の位置付けとその目標についてまとめる。(90分)
13	吉野康子	14 「総合的な学習(探究)の時間」のカリキュラム・デザイン～カリキュラム・デザインの考え方と全体計画・年間指導計画～	【予習】中学校・高校で経験した総合的な学習(探究)の時間の内容を振り返り、発表できるようにまとめておく。(90分) 【復習】教科の学習や特別活動との連携を踏まえた総合的な学習(探究)の時間の適切な位置付けについて整理し、まとめる。(90分)
14	吉野康子	15 「総合的な学習(探究)の時間」における課題設定と授業づくり～学年段階に応じた課題設定の視点と授業づくりのポイント～	【予習】総合的な学習(探究)の時間で設定するにふさわしい各学年段階に応じた探究課題を考え、発表できるようにまとめておく。(90分) 【復習】「主体的・対話的で深い学び」を実現する課題設定の視点、学びのプロセスを重視した授業づくりのポイントについてまとめる。(90分)
15	吉野康子	16 「総合的な学習(探究)の時間」の評価と求められる視点・方法～評価規準設定のポイントと具体的な評価方法～	【予習】総合的な学習(探究)の時間の目標に準拠した評価の観点を考え、まとめておく。(90分) 【復習】学習のプロセスを重視した評価とするための方法について整理し、まとめる。(90分)

2020/07/30(木)11:28

授業科目名	生徒指導・進路指導論		授業形態	講義
英語科目名	Student Counseling and Guidance		開講学期	前期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	多田出 正		ナンバリング	7019
科目担当者				
多田出 正(実務経験あり)				
授業の概要				
<p>「生徒指導」については、学校現場における非行問題行動、いじめ問題や不登校問題、社会の変化に伴い新たに発生している問題等、生徒指導上の諸問題について、それらの現実的な課題や、概要とその解決方法について、事例研究を中心にした授業を展開し、その原因や背景を的確に捉える力を身に付ける。「進路指導」については、進路指導が生き方指導であり、生徒の勤労観・職業観を育てる「キャリア教育」の一環であることの意義と課題、具体的取組等について、事例研究を取り入れた授業を展開し、具体的な対応策や指導の在り方など、必要な知識や素養を身に付ける。</p>				
授業の達成目標				
<p>・本授業は、学校教育の全領域と密接に関係している「生徒指導」と「進路指導」の理論と指導方法を検討し、学校教育における生徒指導、進路指導の在り方を探究する。特に、「非行問題行動・不登校問題に関する事例研究」、「いじめ問題に関する事例研究」、「進路指導・キャリア教育に関する事例研究」等を行い、実践的な指導の在り方の具体的な理解を図る。</p>				
成績評価方法				
<p>・次のとおり評価し、到達目標を踏まえた上で総合的に判断して単位を付与する。</p> <p>1 基礎となる評価:定期試験の成績、指示された課題の内容、出席時の授業への参加状況・態度</p> <p>2 積上げとなる評価:適時行うレポート(ワークシート)の提出状況とその質的内容</p> <p>・定期試験(50%)、課題、レポート等提出物(30%)、授業への積極的参加態度(20%)により総合的に評価する。</p>				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<p>・中学校や高等学校の教員を目指したい人は勿論のこと、教職に対して興味・関心をもっている人が受講する。</p> <p>・教員の講義からだけでなく、履修者相互が学び合う姿勢で主体的に受講する。</p> <p>・授業への出席は特別な事情がない限り、皆勤を基本とする。遅刻・早退をせず出席する。</p> <p>・成績評価は、定期考査の結果・講義の出席を重視する。加えて、課題の提出状況・内容、授業への取組等を総合して判定する。</p>				
テキスト・参考書				
<p>《テキスト》</p> <p>「生徒指導提要」(文部科学省)・・・第1回講義までに各自が購入し準備する。</p> <p>「学級経営ハンドブック」(多田出 正・土井 一博 共著 めんたるねっと社)・・・第1回講義にて購入する。</p> <p>《参考書・参考資料等》</p> <p>「中学校学習指導要領 総則編」、「中学校学習指導要領解説 総則編」、「中学校キャリア教育の手引き」、「高等学校学習指導要領 総則編」、「高等学校学習指導要領解説 総則編」、「高等学校キャリア教育の手引き」(文部科学省)</p> <p>* 上記参考書の準備等については、必要に応じて随時指示する。</p>				
オフィスアワー				
講義実施日(土曜日)の講義終了後、教室にて受け付ける。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
予習・復習で指示したレポート、講義内で実施した小テスト、レポート等は、最終講義終了後の授業内で返却する。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	多田出 正	オリエンテーション (講義受講の留意点、講義展開の説明、評価の仕方、グループワーク等)	<p>【予習】講義に臨む心構え、教職への想い、生徒指導・進路指導についての各自の考えをまとめておく。(90分)</p> <p>【復習】講義全体のイメージをつかみ、生徒指導・進路指導とは何かについて、講義で指示した内容について、テキストの指示された部分を参考に、各自まとめる。(90分)</p>	
			<p>【予習】*「生徒指導提要」第4章の第1節・第2節を調べ、ポイントをまとめておく。</p>	

2	多田出正	学校における生徒指導、進路指導の組織体制と具体的な取組	<p>*「学習指導要領 総則」及び「学習指導要領解説 総則編」の進路指導に関する箇所、「中学校キャリア教育の手引き」第1章第2節を調べ、ポイントをまとめておく。(90分)</p> <p>【復習】*生徒指導を行う学校内の組織体制と、取り組みについて、重要となるポイントについてまとめる。 *学習指導要領に記載されている、進路指導の意義と学校内の組織体制について、重要ポイントをまとめる。(90分)</p>
3	多田出正	学校における生徒指導の意義と指導方法	<p>【予習】「学習指導要領総則編」及び「学習指導要領解説 総則編」の生徒指導に関する箇所と、「生徒指導提要」第1章を併せて調べ、生徒指導のポイントをまとめておく。(90分)</p> <p>【復習】講義と「生徒指導提要」第1章を参考に、「生徒指導の意義と原理」の重要ポイントをまとめる。(90分)</p>
4	多田出正	学級経営と生徒指導	<p>【予習】「生徒指導提要」第2章、第6章第4節を調べ、重要ポイントをまとめておく。(90分)</p> <p>【復習】生徒指導の基本となる「学級経営のあり方」について、自らの考えをA4版一枚程度にまとめ、指定期日に提出する。(90分)</p>
5	多田出正	<p>非行問題行動に関する事例研究</p> <p>(背景・要因について、個人研究、グループ協議)</p> <p>(具体的な対応策・指導の在り方について、個人研究、グループ協議)</p> <p>・事例を基に個人研究とグループ協議を行う。</p>	<p>【予習】非行問題行動を一つ取り上げ、その「背景と要因」、「具体的対応策、指導の在り方」を、A4版一枚程度にまとめ、協議資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】個人研究とグループ討議を振り返り、非行問題行動の「背景と要因、対応策と指導の在り方」をまとめる。(90分)</p>
6	多田出正	<p>いじめ問題に関する事例研究Ⅰ</p> <p>(背景・要因等について、個人研究、グループ協議)</p> <p>・事例を基に個人研究とグループ協議を行う。</p> <p>*準備した資料は講義終了後提出する。</p>	<p>【予習】「生徒指導提要」第6章第6節「いじめ」を調べ、その「背景と要因」を、A4一枚程度にまとめ、協議資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】個人研究とグループ協議での内容を整理し、いじめ問題の「背景と要因」についてまとめる。(90分)</p>
7	多田出正	<p>いじめ問題に関する事例研究Ⅱ</p> <p>(具体的な対応策・指導の在り方について、個人研究、グループ協議)</p> <p>・事例を基に個人研究とグループ協議を行う。</p> <p>*準備した資料は講義終了後提出する。</p>	<p>【予習】「生徒指導提要」第6章第6節「いじめ」について調べ、「具体的な対応策、指導の在り方」を、A4版一枚程度にまとめ、協議資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】個人研究とグループ協議での内容を整理し、いじめ問題の「具体的な対応策、指導の在り方」についてまとめる。(90分)</p>
		不登校問題に関する事例研究	

8	多田出正	<p>(背景・要因等の分析・考察の個人研究、グループ協議) (具体的な対応策・指導の在り方の個人研究、グループ協議)</p> <p>・事例を基に個人研究とグループ協議を行う。</p> <p>* 準備した資料は講義終了後提出する。</p>	<p>【予習】「生徒指導提要」第6章第12節を調べ、不登校の「背景と要因」、「具体的な対応策、指導の在り方」について、A4版一枚程度にまとめ、協議資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】* 個人研究とグループ協議での内容を整理し、「不登校の背景と要因について」、「具体的な対応策と指導の在り方について」をまとめる。 * 非行問題行動、いじめ問題、不登校問題について、「背景と要因」、「具体的な対応策と指導の在り方」を、指定された様式(A4版一枚程度)にまとめ、指定期日に提出する。(90分)</p>
9	多田出正	<p>新たな生徒指導上の諸問題と生徒理解の充実</p>	<p>【予習】「生徒指導提要」第3章第1節を調べ、「現代の生徒指導において重要と考えられる視点」について、自らの考えをA4版一枚程度にまとめ、受講の資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】生徒の発達段階、特性に配慮した生徒理解の充実と、具体的な生徒指導について、重要ポイントをまとめる。(90分)</p>
10	多田出正	<p>生徒の発達特性に配慮した、具体的な生徒指導体制の在り方</p>	<p>【予習】「生徒指導提要」第3章第2節を調べ、「発達障がい」の定義・特性等、重要と考えられるポイントについて、A4版一枚程度にまとめ、受講の資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】発達特性に配慮した、具体的な生徒指導体制の在り方について、重要ポイントをまとめる。(90分)</p>
11	多田出正	<p>学校における進路指導の意義と指導方法</p>	<p>【予習】「中学校キャリア教育の手引き」第1章 第1節・第2節、を調べ、重要ポイントについてをまとめ、受講の資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】進路指導は、キャリア教育の一環であること、生き方指導であること、等を踏まえ、重要ポイントをまとめる。(90分)</p>
12	多田出正	<p>進路指導・キャリア教育に関する事例研究Ⅰ</p> <p>(進路を選択する能力の系統的な育成について、個人研究、グループ協議)</p> <p>・事例を基に個人研究とグループ協議を行う。</p> <p>* 準備した資料は講義終了後提出する。</p>	<p>【予習】「中学校キャリア教育の手引き」第3章第1節・第2節、並びに「学級経営ハンドブック」4 進路指導・キャリア教育の基本を調べ、重要ポイントをA4版一枚程度にまとめ、協議資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】個人研究とグループ研究での内容を振り返り、将来の進路を選択する能力の育成についてまとめる。(90分)</p>
13	多田出正	<p>進路指導・キャリア教育に関する事例研究Ⅱ</p> <p>(中学校職場体験学習の意義と実際について、個人研究、グループ協議)</p> <p>・事例を基に個人研究とグループ協議を行う。</p> <p>* 準備した資料は講義終了後提出する。</p>	<p>【予習】「中学校キャリア教育の手引き」第2章第5節、並びに「学級経営ハンドブック」4 進路指導・キャリア教育の基本を調べ、重要ポイントをA4版一枚程度にまとめ、協議資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】第11回～第13回の予習、個人研究とグループ研究の内容を振り返り、「中学校職場体験学習」の意義と課題、キャリア教育に占める重要性について、指定された様式(A4版一枚程度)にまとめ、指定期日に提出する。(90分)</p>
			<p>【予習】「学習指導要領」及び「学習指導要領解説 総則編」の、進路</p>

14	多田出正	進路指導における、ガイダンス機能・カウンセリング機能の充実	<p>指導・ガイダンスの機能の充実、並びに「中学校キャリア教育の手引き」第2章第2節・第3節、第3章第3節を調べ、重要ポイントをまとめておく。(90分)</p> <p>【復習】中学校3年間を見通した、進路指導・キャリア教育の指導計画作成について、重要ポイントをまとめる。(90分)</p>
15	多田出正	<p>学校・家庭・地域社会・関係諸機関との連携の在り方</p> <p>「講義のまとめ」として定期考査</p>	<p>【予習】「中学校キャリア教育の手引き」第2章における「連携の推進」を調べ、重要ポイントをまとめておく。(90分)</p> <p>【復習】第1回～第14回迄の講義内容を踏まえ、「学校教育における生徒指導、進路指導・キャリア教育の重要性」について、各自の考えを整理し、“学校教育においては、連携なくして、生徒指導・進路指導等はできないこと”を理解する。(90分)</p>